

「第5回 岩原川エリアの未来を考えるワークショップ」を開催しました！

●第5回はどんなことをしたの？

前回頂いた、河川と道路の設計案に対するご意見を参考に修正した設計案を確認して頂きました。また、整備後のまちづくりについてグループワークを行いました。岩原川エリアみらい計画の基本方針である「安全で快適な公共空間」「賑わいのある通り」「エリア周辺との繋がり強化」3つの観点から沢山のアイデアを頂きました！



ワークショップ風景

●整備後のまちづくりのアイデア（一例）

- ①安全で快適な公共空間…さるくの拠点に、地域の人々が花壇づくり、街路灯や休み石の設置など
- ②賑わいのある通り…朝市の開催、おくんちやランタンフェスティバルの会場にする、道路や川のライトアップ、川の絵を描くイベントの開催など
- ③エリア周辺との繋がり強化…アダプト制度の活用、案内板の充実、周りの町とイベント開催など



「安全で快適な公共空間をつくる」の成果品

◎第5回ワークショップデータ◎

日程：平成26年2月10日（月）

時間：19:00-21:00

会場：長崎市立図書館新興善メモリアルホール

人数：16名

テーマ：設計案の確認と今後のまちづくりを考えよう！



整備イメージ



「賑わいのある通り」の成果品



「エリア周辺との繋がり強化」の成果品

●道路のデザイン…今より狭くせず、舗装材を変えることで、人の歩くゾーンと車の通るゾーンを分けます。狭いところは一部張り出しの歩道を設置します。

●河川のデザイン…堰を設置して土砂を溜め、生物が棲むことのできる「多自然川づくり」を推進します。実験を行いながら段階的に整備します。

